

エポキシ樹脂すべり止めカラー舗装材

ニート工法・排水性工法 兼用樹脂バインダー

エポーラP

NO.M08001



すべり抵抗性や、路面のカラー化により
交通事故の低減へ。



OSAKI INDUSTRY CO., LTD.

すべり抵抗性や、路面のカラー化により 交通事故の低減へ。

ニート工法および排水性ニート工法兼用樹脂バインダーのエポーラPは、一般的に既設または新設のアスファルト舗装、コンクリート舗装面上に、バインダーとして可撓性エポキシ樹脂を薄く均一に塗布し、その上に耐摩耗性の硬質着色骨材を散布して路面に固着させる工法です。着色骨材やトップコートなどを使用することによりすべり抵抗性のほかに路面のカラー化をはかり、色彩効果と視認性を高め交通事故防止に役立ちます。

特長

耐久性

アスファルト舗装やコンクリート舗装路面への接着性に優れ、骨材の固着力に優れ、耐水性や耐薬品性に優れ、高速走行などの苛酷な条件下でも摩耗性と耐久性に優れます。

たわみ性

アスファルト路面などの基材に対する接着性に優れ、基材の変形に追従する可撓性を付与していますので、はがれやクラックなどの心配がありません。

色彩効果

耐久性に優れた硬質着色骨材などを使用することにより色彩効果と視認性の高い舗装ができます。

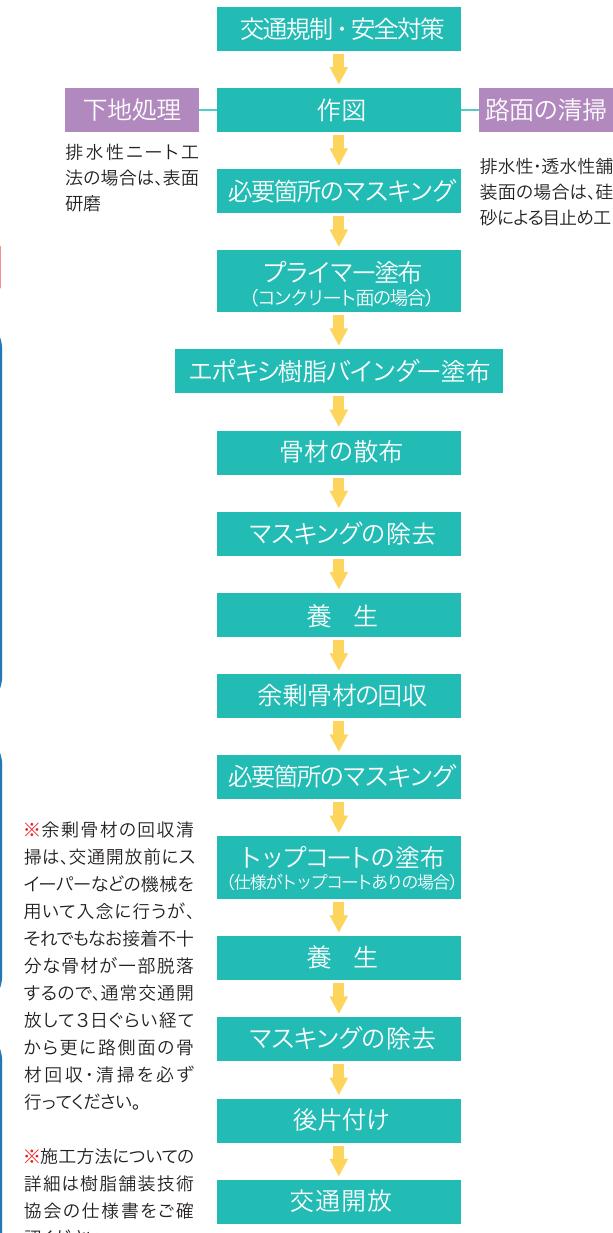
ノンスリップ性

耐久性や耐摩耗性に優れた硬質着色骨材を使用することによりすべり抵抗性に優れます。

樹脂舗装技術協会 認定品

樹脂舗装技術協会の品質規格EPNに適合した認定製品です。排水性ニート工法にも対応した製品です。排水性ニート工法の施工は、可撓性エポキシ樹脂専用の二液自動計量混合塗装機を必要とします。

施工方法



商品一覧

	用途	容量	備考
エポーラP	バインダー	40kg / セット	主剤 20kg : 硬化剤 20kg(混合比 1:1)
プライマーEP#300	コンクリート用プライマー	20kg / セット	主剤 16kg : 硬化剤 4kg(混合比 4:1)

ニート工法・樹脂系すべり止め舗装に関する骨材、トップコートも取扱っておりますので弊社までお問合せください。

用 途

- 一般道の交差点、坂路、曲線及び走行車線
- 高速道路の走行車線、坂路、トールゲート周辺(ETC)
- 駐車場出入口
- スクールゾーン、通学路、自転車道
- 商店街、公園広場、コミュニティ道路
- 路側帯
- 暴走族対策用段差舗装

事例



エポーラPの品質規格

項目	品質規格 (EPN)※1	試験方法など (準ずる規格)
密度	1.00～1.30g/ml	JIS K 5600-2-4による。(金属製ピクノメータ) 主剤と硬化剤とを別々に測定し、所定の混合比に沿って計算する。
ポットライフ	10～40分	混合試料100gの最高発熱までの時間(分)の70%値で示す。
半硬化時間	6時間以内	JIS K 5600-1-1 4.3.5b)による。 スレート板に1.9kg/m ² 塗布する。
引張強さ	・材令3日…材令7日の70%以上 ・材令7日…6.0N/mm ² 以上	JIS K 6911 5.18による。23°Cで3日および7日養生後に測定する。 試験片の厚みが5～6mm 引張速度5mm/min。
伸び率	20%以上	伸び率は材令7日養生後のみとする。
塗膜収縮性	7mm以下	樹脂系すべり止め舗装要領書の試験法4)による。
TI値※2	1.2～2.0	樹脂系すべり止め舗装要領書の試験法5)による。

※1 樹脂舗装技術協会の規格値 ※2 TI値の試験項目は、排水性ニート工法 RPN-601,602のみに適用

プライマーEP#300の品質規格

項目	品質規格 (PPN)※1	試験方法など (準ずる規格)
ポットライフ	1時間 以上	無溶剤型、あるいはこれに近いものの場合は、 樹脂系バインダと同じ2-1-2 1である。 溶剤型の場合は、2-3-2に示す方法による。
半硬化時間	2時間 以上	JIS K 5600-1-1 4.3.5b)による。 スレート板に0.2kg/m ² 塗布する。
付着強さ	1.5N/mm ² 以上	JIS A 5371に規定するコンクリートブロック(平板)にプライマーを 0.2kg/m ² 塗布、硬化後、樹脂系バインダを1.9kg/m ² 塗布する。 23°C、7日間の養生後、建研式接着力試験を行う。

※1 樹脂舗装技術協会の規格値

安全・衛生注意事項

正しくお使いになるために下記の注意事項を守るように
お願い致します。

製品をご使用になる前には必ず安全データシート(SDS)
をよくお読みください。

■ 取扱い及び貯蔵上の注意事項

- ・エポキシ樹脂の主剤・硬化剤を取扱う場合、直接手で触れずに必ず保護具を着用してください。(ゴム製または不浸透性手袋、保護めがね、保護クリームなど)
- ・取扱い後は必ず手洗い・洗顔及びうがいを十分に行ってください。
- ・容器は常に密閉し、直射日光・高温を避けて一定の場所に貯蔵してください。
- ・呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を取扱う作業を行わないでください。

■ 緊急時及び応急処置

- ・皮膚に触れた場合、速やかに触れた部分を水または微温水を流しながら洗浄した後、石鹼を用いて良く洗い落としてください。
- ・目に入った場合、多量の清浄な水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲んだ場合、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所に移し、安静にし、医師の診察を受けてください。

■ 塗料廃棄上の注意事項処置

- ・塗料を廃棄する場合、産業廃棄物として処理してください。
- ・容器から大量にこぼれた場合、砂などを散布し回収してください。
また、回収したものは産業廃棄物として処理してください。



本社営業部 〒593-8311 大阪府堺市西区上89番地
TEL. 072(272)1453(代) FAX. 072(274)1810
東京営業所 〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-1 KF蒲田第1ビル5F
TEL. 03(6715)8125(代) FAX. 03(6715)8135
北陸連絡事務所 〒921-8171 石川県金沢市富樫2-5-41-3
TEL. 076(244)9196(代) FAX. 076(244)9197
北海道連絡事務所 〒066-0077 北海道千歳市上長都2番地24
TEL. 0123(42)6151 FAX. 0123(22)7701

特約代理店